

廃棄すべき備蓄物資（紙おむつ等）の転売事案について

1 経過

令和元年11月5日に、フリーマーケットアプリケーション（フリマアプリ）を通じて子ども用の紙おむつを購入した個人から、届いた段ボール箱に「平成26年度品川区災害対策用品」と印刷された紙が貼られていたという通報があった。

これを受けて区では、当該物品の供給契約の相手方である荏原薬業協同組合に対し事実関係の調査を依頼するとともに、回収を求めた。

なお、報道機関に本件の情報提供がされたため、令和元年12月10日付の朝日新聞に経緯などが掲載されたものである。

2 本件に係る契約について

契約件名：(災害対策用) 紙おむつ他

契約形態：指名競争入札

契約相手方：荏原薬業協同組合

契約締結日：令和元年8月26日（納入期限：同年9月30日）

契約の内容：物品供給契約

（大人用紙おむつ、子ども用紙おむつ、大人用尿取りパットおよび生理用品の納入ならびに平成26年度に納入した同種の製品の回収・廃棄）

3 荏原薬業協同組合からの報告内容

荏原薬業協同組合は、本契約に係る業務を(株)成玉舎（本社：神奈川県相模原市）に依頼した。(株)成玉舎は(株)倉嶋運送（本社：東京都江戸川区）に運送、回収および廃棄を依頼したが、(株)倉嶋運送の社長は廃棄すべき物品と知りつつ、生理用品以外の物品を、知人を通じて区外の保育園・高齢者施設に寄付するとともに、納品されたおむつを輸送した会社のドライバーに引き取りを持ちかけた。その結果、これらの物品が廃棄されることなく流出した。更に、その一部を入手したリサイクル業者がフリマアプリに出品し販売していたものである。現在、弁護士を通じリサイクル業者に対して持ち込んだ者の氏名を照会しており、今後も、引き続き、区に適切に状況報告する。

- ・区から廃棄を依頼されたオムツ等の数 3,595包（生理用品を除く）
- ・回収できたオムツ等の数 783包（12月末現在）
 - <内訳>リサイクル業者から回収 492包
 - 保育園・高齢者施設から回収 291包

4 区の対応

- (1) 契約相手方である荏原薬業協同組合を通じ、事実関係を調査し、全容解明に努める。
- (2) 期限切れが迫った備蓄物資の有効活用に努めるとともに、備蓄物資の納入および廃棄に係る契約を見直す。